

大き手

宮坂静生

小諸四句

ここに青春火山灰道の蜥蜴かねぢよろよ

露草の金の薬振るとら与良古墳

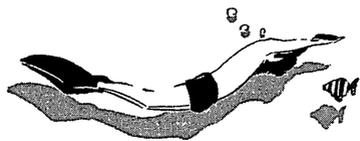
栗谷川医院丈高をみなめし

宵待や火の山を溶岩らころがりし

山崎和之に

大き手といはれ残暑を驚擱み

藪漕ぎのくらしや虫の音の埧堀



擦り切るゝ寸前あけの虫の音は

青松虫穢え土どよりの使者青衣着て

いくたりの友を思う

青毬栗癌細胞にぶつけたし

遠くまで咲きひしひしと蕎麦の花

菱群に蟬がとび込み鳴き出せる

山稜に雲の仮寝も厄日過ぎ

